

施設整備の経緯

〈志木環境センター〉

昭和40年	2月	建設事業着工
昭和41年	1月	建設事業完成（40t／8H）
昭和43年	12月	増設用地取得
昭和44年	8月	増設炉建設事業着工
昭和45年	10月	増設炉建設事業完成（80t／8H）
昭和46年	12月	有価物回収施設完成
昭和49年	7月	電気集じん器設置着工
昭和50年	3月	電気集じん器設置完成
昭和58年	12月	廃止
昭和62年	2月	解体撤去工事着工
昭和62年	3月	解体撤去工事完了
平成5年	2月	旧志木環境センター跡地売却

〈新座環境センター〉

昭和49年	5月	東工場用地取得事業着手
昭和50年	12月	東工場用地取得事業完了
昭和52年	8月	東工場建設事業着工
昭和54年	1月	東工場建設事業完成（90t／24H×2炉、粗大ごみ切断処理施設） （本格稼働 昭和54年2月7日）
昭和58年	10月	東工場塩化水素除去設備着工
昭和59年	3月	東工場塩化水素除去設備完成
平成3年	3月	未利用地を一部売却
平成4年	2月	未利用地を一部売却
	7月	西工場建設事業着工
平成5年	11月	用地内新座市市有地（旧道路及び旧水路敷）を購入
平成6年	9月	西工場建設事業完成（90t／24H） （本格稼働 平成6年10月1日）
平成8年	11月	東工場、西工場集じん灰含有重金属処理施設着工
平成9年	3月	東工場、西工場集じん灰含有重金属処理施設完成
平成9年	7月	東工場CO－O ₂ 連続分析計設置着工
	11月	東工場CO－O ₂ 連続分析計設置完成
平成10年	9月	東工場ダイオキシン応急対策工事着工
	11月	東工場ダイオキシン応急対策工事完成
平成13年	6月	東工場改善（ダイオキシン恒久対策）工事着工
平成15年	2月	東工場改善（ダイオキシン恒久対策）工事完成
令和4年	8月	未利用地を一部売却

〈富士見環境センター〉

昭和 57 年	1 月	用地取得事業着手（富士見市土地開発公社）
昭和 57 年	6 月	用地取得事業完了（富士見市土地開発公社）
昭和 59 年	2 月	建設事業着工
昭和 60 年	7 月	粗大ごみ破碎処理施設等着工
昭和 61 年	3 月	建設事業完成（90 t / 24 H×2 炉、粗大ごみ破碎処理施設等） （本格稼働 昭和 61 年 4 月 1 日）
平成 7 年	9 月	焼却灰及び集じん灰含有重金属処理施設着工
平成 8 年	3 月	焼却灰及び集じん灰含有重金属処理施設完成
平成 9 年	7 月	CO-O ₂ 連続分析計設置着工
	11 月	CO-O ₂ 連続分析計設置完成
平成 10 年	7 月	ダイオキシン恒久対策工事着工
平成 12 年	6 月	リサイクルプラザ（プラスチック分別処理施設）着工
	8 月	ダイオキシン恒久対策工事完成
平成 14 年	2 月	リサイクルプラザ（プラスチック分別処理施設）完成
平成 14 年	4 月	リサイクルプラザ利彩館開館
平成 25 年	5 月	粗大ごみ・ビン処理施設着工（粗大ごみ破碎処理施設、有価物回収施設を 一体で更新）
平成 25 年	10 月	有価棟・ベッド、ソファ解体場撤去工事着工
	12 月	有価棟・ベッド、ソファ解体場撤去工事完了
平成 26 年	12 月	粗大ごみ・ビン処理施設完成
令和 2 年	5 月	富士見環境センター焼却施設基幹的設備改良工事着工
令和 5 年	3 月	富士見環境センター焼却施設基幹的設備改良工事完成

〈（仮称）志木環境センター用地〉

平成 6 年	1 月	用地取得事業着手
平成 8 年	3 月	用地取得事業完了
平成 11 年	2 月	用地整地及び管理施設設置着工
	3 月	用地整地及び管理施設設置完成
平成 25 年	2 月	一般国道 254 号和光富士見バイパス道路用地として一部売却